



春日井ロータリークラブ 2013~2014 年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

ロータリアンとして世界・地域に奉仕しよう

市民がウォーキングや散歩の折りに、それぞれの故郷を思い出し、自然や緑を大切に作る心の糧となるよう、全国ロータリークラブの協力により、各地の県木・市木60余本を植樹しました。
(春日井ロータリークラブ創立25周年記念事業 1994年4月)

会 長：屋嘉比良夫
副 会 長：大橋 完一
副 会 長：太田 弘道
幹 事：加藤久仁明
会報委員長：近藤 太門

例 会 日：金曜日 12:30~13:30
例 会 場：ホテルプラザ勝川
事 務 局：春日井市鳥居松5-45
T E L：(0568)81-8498
F A X：(0568)82-0265
E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp



(仮称)総合保健センター
※イメージ図



落合公園体育館

ロータリーの森の桜

本日のプログラム

- | | | |
|--------------|-------|------------------|
| ・点 鐘 | 司 会 | 伊藤 純君 |
| ・ROTARY SONG | | 屋嘉比良夫君 |
| ・今月の歌 | | 「日も風も星も」
「村祭」 |
| ・ビジター紹介 | | 屋嘉比良夫君 |
| ・食事・歓談 | | |
| ・委員会報告 | | |
| ・祝 福 | | |
| ・卓 話 | 伊藤 純君 | 蓮野 美廣君 |
| ・幹事報告 | | 加藤久仁明君 |
| ・点 鐘 | | 屋嘉比良夫君 |

今月の歌

村祭
村の鎮守の神様の
今日はめでたい 御祭日
ドンドンヒャララ ドンヒャララ
ドンドンヒャララ ドンヒャララ
朝から聞こえる 笛太鼓

今月の祝福

会員誕生日

5日 伊藤 純君 29日 蓮野 美廣君

夫人誕生日

4日 加藤 茂君・純子さん
4日 亀谷 鉦一君・貞子さん
8日 菅原 幹夫君・睦子さん
15日 磯野 俊雄君・弘子さん
18日 梅田 英夫君・里子さん
24日 長谷川英輝君・亜紀さん
28日 中川 健君・加代子さん
29日 塚本 兼光君・妙子さん

2013年9月20日(金)第2154回(9月第3例会)

結婚記念日

21日 名畑 豊君 24日 長谷川英輝君
30日 加藤久仁明君

アテンダンス表彰

33ヶ年 大橋 完一君
4ヶ年 和田 了司君
1ヶ年 森田 誠君

先週の記録

会長挨拶

副会長 太田 弘道君

皆様こんにちは、今日は歌ではありませんので座ったままで結構です。先々週、大橋副会長がお話しされましたが、今回は私がお話させていただきます。まず始めに9月7日、8日と親睦遠征ゴルフでは色々心配事がありましたが、蓮野親睦委員長に大変お世話になりながら全員が楽しく無事に春日井に帰ってくることが出来ました。次回も楽しみにしています。

さて、今日9月13日は、私にとって大変記念となる日です。なぜなら11年前の2002年、私の入会式をしていただいた日だからです。当日はガバナー補佐訪問の日で、当時の会長は、今年度副会長としてご一緒させていただいている大橋完一先輩でした。当時、先輩は還暦前の59歳、私は57歳、平均年齢は62歳でした。入会式の前に私のスポンサーから入会式は夫婦同伴で出席するよう連絡があり、家内を説得し二人で出席させて頂きました。今座っている席に家内と二人緊張して座り、何を頂いたのか覚えがありません。又私と同じ苗字の太田達夫ガバナー補佐がロータリーバッジを付けてくださいました。あれから35

新世代のための月間

例	9月30日(月)	10月4日(金)	10月11日(金)	10月18日(金)
会	9月27日例会変更	理事役員会 11:30	卓話	祝福
予	ガバナー公式訪問	卓話 名畑 豊君	地区米山委員会	卓話 高木 修君
定	キャスルプラザ		山田 直樹君	卓話 足立 治夫君

ホームページ： <http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail： ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

名の方の入会式がありました。私の記憶が間違いで無ければ夫婦同伴の入会式やガバナー補佐訪問の入会式は無かったと思います。

以上、私の入会式の話をしていただきました。次回は、ソングリーダー、スクラッチ会、謡曲部会等のエピソードをお話させていただきます。最後に入会式以来11年間、大橋先輩にはご指導いただき、大変感謝しております。

これをもちまして、会長挨拶の代わりとさせていただきます。

ご協力ありがとうございます。 成瀬 浩康君

卓話

山田 倫章君

この7月より、塚本兼光さまのご紹介で入会いたしました、中部電力春日井営業所の山田倫章です。本日は自己紹介ということで、お時間を頂戴します。

私は昭和44年生まれでこの春日井ロータリークラブと同年、11月に44歳になります。春日井小学校、西部中学校を卒業し、名古屋の県立千種高校とその後1年間河合塾の千種高に通うまで、20年弱春日井に住んでいました。高校からは春日井の西から東の高蔵寺ニュータウンへ引越しました。私は現在、先週お越しになった丹羽ガバナー補佐と同じ長久手に住んでいますが、両親は今もニュータウンに住んでいます。それで、東部へ来る機会はありませんでしたが、鳥居松や春日井周辺や西部方面に行くことは少なかったため、25年の間にいろいろと変化しているところがあり驚いています。

私の家族を紹介します。妻は高校時代の同級生で、人生の3分の2をすでに妻に占められていることとなります。高校の同級生と結婚したという話をすると、皆さん「将来を見越して早めに契約したんだね、上手くやったね」と私の額の上を見ながら言っていただけです。妻は子供に「お母さんは騙されたのよ。昔はああじゃなかったのよ」とのろけてます。その子供は6年生・2年生の女の子、年中の男の子の5人家族で日々騒がしくすごしています。

仕事の面では、長く会社で経理畑を歩んできましたが、前職は突然、弊社の社長水野の秘書を拝命し、本当に貴重で忘れられない経験をその3年間で数多くすることができました。

なかでもやはり東日本大震災とその後の原子力事故の対応、そして総理大臣からの浜岡原子力発電所停止要請に関しては、多分二度と人生であればどの渦中に身を置くことはないのではないかという経験でした。そこで感じたこと、すなわち政治や行政、マスコミや日本を覆う「みえない空気」といったものに対して、愕然としたことについては、この場にふさわしくない内容だと思いますので、別の話をしたいと思います。

私は秘書という立場でいろいろな現場や国へ随行して、先入観というか固定観念と現実が如何に違うかということを経験しました。まさに「百聞は一見に如かず」です。英語では“seeing is believing”（見ることは信じること）というそうですが、こちらの表現もなかなか素敵ですね。今年の5月にロシアのモスクワで原子力の世界会議があり、併せてサンクトペテルブルグのトヨタの工場に視察に行きましたので、ロシアでの「百

幹事報告 幹事 加藤久仁明君

◎例会変更のお知らせ

名古屋城北 RC	10月1日(火) 9月30日(月) 12:30 ガバナー公式訪問の為 キャッスルプラザ
江南 RC	9月26日(木) 9月24日(火) 12:30 ガバナー公式訪問の為名鉄犬山ホテル
津島 RC	10月4日(金) 10月4日(金) 12:30 ガバナー公式訪問の為名鉄グランドホテル
名古屋葵 RC	10月3日(木) 10月3日(木) 親睦例会の為

出席報告 委員長 伊藤 一裕君

会員 54名	欠席 13名	出席率 86.8%
先々週の修正出席	欠席 3名	出席率 94.3%

ニコボックス報告 委員長 成瀬 浩康君

太田副会長、本日の会長挨拶宜しくお願ひいたします。 屋嘉比良夫君
会長挨拶の代わりをさせていただきます。

太田 弘道君
RCのゴルフで優勝させてもらいました。ありがとうございます。 加藤久仁明君

親睦遠征ゴルフとても楽しかった。ありがとうございます。 磯野 俊夫君

3年ぶりにお立ち台に立たせてもらいます。卓話をさせていただきます。 宅間 秀順君

卓話がうまくいきますように。 山田 倫章君
宅間くん、山田君の卓話を聞く喜びで。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 足立 治夫君 | 浅井 瀧治君 | 青山 博徳君 |
| 伊藤 一裕君 | 伊藤 正之君 | 梅田 英夫君 |
| 小川 長君 | 大橋 完一君 | 岡田 義邦君 |
| 岡嶋 良樹君 | 亀谷 鉦一君 | 加藤 茂君 |
| 河村 哲也君 | 加藤 宗生君 | 貴田 永克君 |
| 北 健司君 | 小島 啓治君 | 近藤 太門君 |
| 志水ひろみ君 | 清水 勲君 | 社本 太郎君 |
| 峠 テル子君 | 名畑 豊君 | 野浪 正毅君 |
| 長谷川英輝君 | 蓮野 美廣君 | 古屋 義夫君 |
| 森田 誠君 | 松尾 隆徳君 | 和田 了司君 |

聞は一見に如かず」についてお話しします。ロシアというとプーチンの強権さや、怠惰で傲慢な国民、ソ連崩壊後の混乱や警察の腐敗といった、暗くて悪いイメージが強かったのですが、実際言ってみると大違いでした。感じたことを7つお話しします。

まずギリシャ正教というキリスト教の敬虔な信者が殆どであり、市民は精神的に非常に高潔だと感じました。

ここ10年で資源をはじめ経済が急成長したことで経済的にゆとりがあります。給与水準は決して高くないのですが、旧ソ連が崩壊したときに、国民がみな強制的に入居していた都市部の賃貸集合住宅が無料でそのまま譲渡されたそうです。ですから、家賃やローンの負担がないために可処分所得が多くなるそうです。

なにより豊かだなと感じたのは、都市部の人は皆、車で1~2時間のところヘダーチャと呼ばれる家庭菜園付の小さな別荘をもっていて、平日は都市で仕事をして、週末はそこで土いじりや友人とバーベキューをしたりしてリラックスするそうです。

治安の面でも、ほかの欧州諸国とちがい、貧困国からの就労ビザが厳しいため、出稼ぎ労働者もカザフスタンなど、旧ソ連邦の国に限られているため、非常に良いと感じました。私も夜12時過ぎに現地にいる大学時代の友人と出歩きましたが、まったく危険は感じませんでした。

芸術や文化に対する高い関心、尊敬に関しては予想したとおりですが、やはり日本で展示すれば大行列ができる超一流の絵画や、バレエ、音楽に身近に接することができる環境はうらやましいです。

道路にごみを捨てる人はいないそうです。自分たちが住む場所を汚す行為は、発想として考えられないということでしょうか。友人が「民度が高い」と言っていたのが印象的でした。

トヨタの工場勤務する労働者も非常に自律心と向上心が高く、トヨタの方も「アメリカ人労働者は勤勉ではないがチームワークで仕事する。西欧の労働者は個々の能力は高いが、主張が強くてそれがチームとしてうまく発揮できない。ロシアは、まだまだこれからだが、その”いいとこどり”ができる可能性がある」と、おっしゃっていました。

以上、ロシアの私の体験は先入観が悪かった分、本当に驚きの連続でロシアが大好きになりました。いつか家族をつれてバレエ鑑賞を、と思っています。料理もウオッカも本当においしかったです。今は、IT化が進んでいろいろな情報は簡単に入手でき、疑似体験ができる世の中になりました。しかしながら、実際自分の目で見て経験すること

が大切だと、あらためて感じました。

最近、子育てに関連して同じことを痛感したので、そのエピソードを最後に紹介します。7月にセントレアを利用して旅行から帰ってくる妻を子供たちと向かえにいった際、時間があつたので宮の湯というセントレアにある銭湯に4歳の息子と男湯に2人で入りました。私が少しサウナに入っている間、入り口のドアの前に息子を待たせていました。2分ほどして出てみると息子が「お父さん、お相撲さんがいたよ!」というので、ああ、名古屋場所が開催されているし、力士がいても不思議はないかな、と思って、「どこにいる?」とたずねたところ、「そこそこ」「え、どこ?」とやりとりを繰り返しましたが、しびれをきらした息子がずんずん進んで「そこだつてば!」と指差した直ぐ先には・・・ただの太ったおじさんが湯船につかってこちらを睨んでました。ああ、やっぱりちゃんと教えて、経験させていない親の責任だなと痛感しました。

これから家族も自分もいろいろ経験して、成長したいと思います。この春日井ロータリークラブでの経験は本当に意義があると思いますのでこれから皆さんよろしくお祈りします。

前任の高橋も職場視察を提案して皆様に武豊火力発電所、メガソーラーや浜岡原子力発電所を視察いただきましたが、これから私もお提案させていただきたいと思いますので、ご協力いただければ幸いです。

卓話

宅間 秀順君

私はRCクラブ入会満3年で、年齢だけは69歳とかなり平均年齢を上回っています。奉仕を社内において活用できないかと考え、数ヶ月前に生産部門と非生産部門とに分け、改善会議を招集しました。

わが社は食品の生産、販売とほぼ全国的に行っています。従業員は170名あまりで、そのうち工場生産要員は150名程です。一般的に食品と言えば、煮る・焼く・揚げる・蒸すなどの工程があります。

仮に、～までの工程がある商品ですと、
、
、
と作業は流れます。
この流れの中で、受け渡し方と受け取り方の改善を実施致しました。工場作業を例に取りますと、決められた時間内に、決められた生産を、部門長の指示や作業指示書を見て作業が始まります。自分達が苦勞して生産した商品が果たして次の工程の人に喜んで受け取ってもらっているかどうか、また、受け取った側は、自部署の作業において効率よく作業できる状態なのか、そこに疑問を持ちました。そこで、部署長を交えてパート従業員の

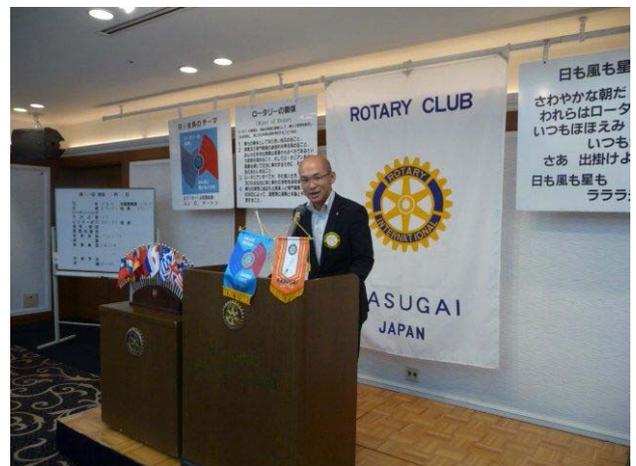
中心となる方達と、各工程について問題点、改善点を討議しました。

問題点としては、今まで事務的・機械的・言われるがままに淡々と作業をして、疑問を持たずに行っていたこと。また、他工程の作業をあまりにも知らなさすぎるといったことがあげられました。その問題解決の為に何をしたら効果的かと考えた結果、他部署で作業体験してみる「人事交流」にあると気づき、早速実施しました。

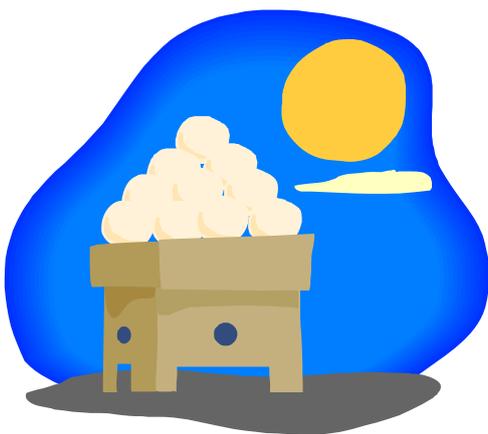
人事交流では、閑散期に1日1人ずつ他部署に行き、他工程の作業をしながら状況を見て、聞いて、知ることができました。自部署と関係する他工程の作業内容を理解した事で、例えば、どうすれば次工程の作業が効率的かつ楽になるかを常に考えて作業するようになった、前工程にちょっとした改善を要求してみた、他部署の見習うべき良い点を知った等々、多くのメリットがありました。また、そこで互いの名前を知り、今まで閉鎖的であった部署間の壁が一気にくずれました。コミュニケーションの場が広がり始め、昼の食堂でもいつものグループ、いつものメンバーではない人たちとの会話が広がり、お互いに喜んでもらいたいという思いやりの気持ちが広がった様に思います。試験的に行った改善討議・人事交流でしたが、社内の雰囲気にも良い影響を与え始めていると感じております。このような討議の場、人事交流の場を定期的に設け、弊社のスローガンでもあります「small, but strong」な会社にしていきたいと思っております。



副会長挨拶 太田 弘道君



卓話 自己紹介 山田 倫章君



卓話 宅間 秀順君